

交流部会出雲ツアー実施報告

“海の幸 山の幸 人の幸 in 出雲”を実施しました

Report

昨年9月に実施したえりもツアーに続く、“らでいっしゅぼーやの生産者を訪ね地域の食・自然・文化・人を知る旅”。2003年度は3ヶ所でツアーを実施する予定です。その1つめが、7月20日～22日に島根県出雲地方の畜産・水産加工メーカーのみなさんのご協力で開催されました。

■出雲までの道のり

昨年12月「らでいっしゅぼーやの会員さんがみなさんを訪ねるツアーの受入れは可能？宿泊施設は？何か体験できるアトラクションは？」などのアンケートを行ないました。それらの項目に「YES!」と答えてくださった生産者・メーカーさんは65件。その中から今回ひとつめのツアー地として白羽の矢が立ったのは、島根県出雲・奥出雲地方。

この地域にはRadixの会副会長の竹並一人(別所かまぼこ店)さんをはじめ5名のRadixの会員さんが集まっています。皆さん地元でのさまざまな活動をともしており気心の知れた方々。また出雲は、やまたのおろち伝説や八百万の神さまが集まる出雲大社、たたら製鉄の地でもあり、唯一たたら場(昔の製鉄所)が現存する鉄の村も有しています。この

出雲という土地は耳にしたことがあるけれど足繁く訪れる観光地ではないのではないのでしょうか？「生産者さんがいるから」行ってみようか…けれども訪ねてみるとそこは海の幸、山の幸、人の幸が素晴らしいところなのです。訪れてはじめてそれを実感する、神話と歴史の国出雲を知る旅、ちょっとアカデミックです。

■出雲の地での出会い

今回目指したのは「作る人と食べる人、届ける人がより多くの時間を共有し話せる場を作る」こと。そして「作る人の言葉で語っていただく」ということ。出雲の皆さんには、目的地までの移動のバスの中でも、おおいに語っていただきました。皆さん(マイクを置いていただくのが申し訳ないほど)ほんとうに話し上手!

らでいっしゅの会員さんにとって、普段カタログでしか見ることのない商品。どんな場所でどんな人がどんなふうに住っているものなのか、肌で感じ見聞きすることで、その奥にぎゅっとつまっている背景、生産者の方々の誇りたかき笑顔と情熱、そして訪れたときの空の色や風の音や匂いまでもが、これまで紙面を通じてらでいっしゅぼーやが伝えてきたことに無限の広がりをもたらすのだと実感しました。

らでいっしゅをより近く感じ、大きな財産として持ち帰っていただけたいことは間違いないと思います。1度に参加していただける人数はわずかですが、ぜひ「じっくり味わう旅」を継続していけたらと思います。

(事務局・島田)

参加者のキモチ

●何よりも人の幸を味わえた 埼玉から参加の青木英子さん

何よりも生産者の方の人の幸をたっぷり味わうことが出来ました。理想をもってお仕事をしている人の魅力、少しも偉ぶらないお人柄に感動。もちろん、海、山の幸もしっかり味わいました。出雲の釜揚げ蕎麦おいしかった～。パーベキューの牛の肉もやわらかく、搾りたての牛乳もおかわりしました。作りたての竹輪も天ぷら、さかなへんもたくさんいただきました。説明して下さる従業員の方にも誇りが感じられました。家族で参加しましたが、これからいつか家を巣立ち新しい家庭を築くだろう娘たちに良い経験をさせてあげられて良かったと思います。

●心地よい交流でした 東京から参加の二宮美香さん

初めて参加した、らでいっしゅツアーでしたが予想以上に素晴らしかった。生産者とのふれあいやその人々の現場を見ると、正直言ってそれほど興

味はありませんでした。でも出雲のステキな人々に出会ったことで旅は何倍も充実したものになりました。申し訳ないほど至れり尽せりの皆さまのおもてなしに恐縮しながらも、心地よい交流でした。私たちに伝えたいという情熱も伝わってきました。夜遅くまで酒を囲んで語り合えたことも…。本当に楽しかったです。あれから「元気くん」を見るたび出雲の生産者の名前を探してしまいます。本当に“人の幸”を実感できた旅でした。

●私の周りにはない、 いい顔いい目に会えた 兵庫から参加の秋本伊都子さん

こんなに楽しくしかも有意義なツアーがあつていいのかと感激でした。自然はいい、人はいい、食べるものはおいしい。生産者の方はお忙しいのに私たちを心から歓迎し自然体で、ほんとうに家族や友人と楽しむようにもてなしてくださいました。どなたもいい顔いい目をしておられ「なんでだろう?」とずっと考えていました。きっと今自分が生きているその場所から、生きるものごと、自然のこと、環境のことを考えて行動されているから、そのやさしさが表れているんだと気づ

きました。世知辛い私の周りには見ることが出来ないものです。おいしい顔で作られたおいしいものを、おいしい顔で食べられるよう、今日を大切に感謝の気持ちを忘れずに暮らしていきたいと思いました。

生産者のキモチ

●次回はもっと深い案内を!?

出雲ツアー隊長 別所かまぼこ店
竹並一人氏

たいへんつたないガイド役で申し訳なかったです。私の場合はただ出雲の国への思いと、かまぼこに対しての思いを話させていただいたくらいなのですが、他の方々は地域の話、歴史、そして会社の話などともうまく話されていたと思います。今回のような受入れは初めてだったこともあり、まずなにをしてよいのやら戸惑いが大きかったです。次回があればもっと深い案内ができるのでは?と思っています。今回のツアーでRadixの会やらでいっしゅぼーやの皆さまをはじめ、出雲の皆さまに助けていただき、無事大役をこなすことができましてありがとうございます。紙面の上ではありますが御礼申し上げます。